

宮崎学区

ミライづくりプラン

夢と希望を持てる地域をめざして

「ミライづくりプラン」の策定経過

宮崎まちづくり協議会では、みんなで考え、話し合い、学区のミライを作っていく場として、愛知県交流居住センターの協力でワークショップ（全3回）を開催し、そこでの意見を集約して、宮崎学区の地区別計画をつくることとしました。以下のようなプロセスを経て「宮崎学区ミライづくりプラン」が完成しました。



第1回ワークショップ

令和3年12月19日(日)
 ●どうなる?こうなる?宮崎学区
 ●宮崎学区の良い点・問題点・10年後の姿

第2回ワークショップ

令和4年3月20日(日)
 ●宮崎学区のミライの姿
 ●未来のための取組・活動アイデア出し

アンケート調査の実施(令和4年7月)

2回のワークショップで浮かび上がった19項目の活動アイデアについて、地域のみなさんに重要度を評価してもらったアンケート調査を実施

第3回ワークショップ

令和4年10月29日(土)
 ●地域づくり活動アイデアの練り上げ

1 将来の姿

森のかおりと水源のまち 宮崎学区

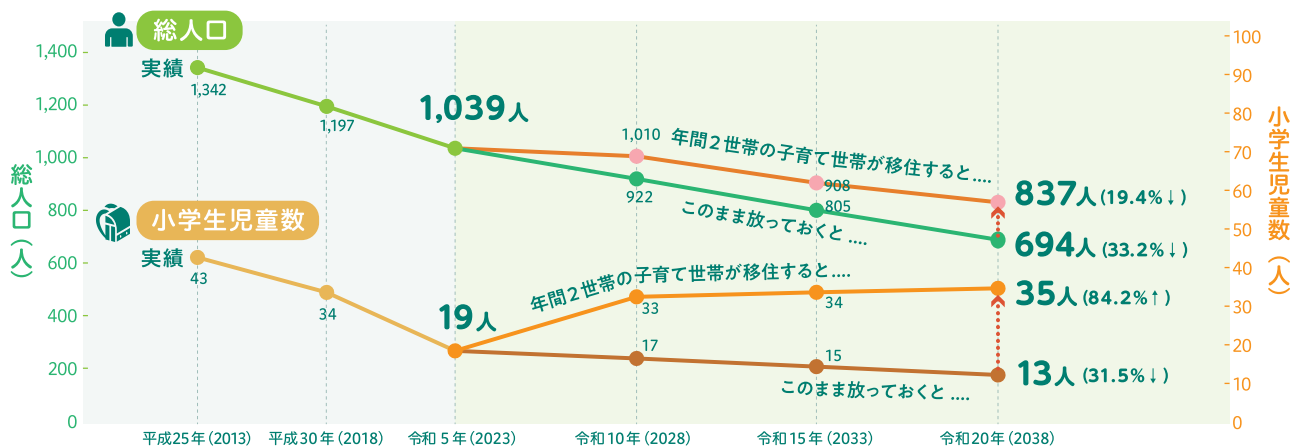
『みんなが関わり楽しく暮らせる住みよいまち』

2 プランの期間

宮崎学区の将来を展望しつつ、**5年間**〔令和5年度から令和9年度(2023年度~2027年度)〕の計画とします。

3 目標値

目標指標	1 子育て世帯のUIターン世帯数	2 小学校区の人口	3 小学校児童数	4 空き家・空き地情報バンクの登録物件数+住宅地物件数
令和5年4月1日	-	1,039人	19人	-
行動目標	2世帯/年	-	-	2物件/年以上
令和10年4月1日	10世帯増加	1,010人以上	33人以上	10物件以上



[実績値] 岡崎市統計ポータルサイト/小学校区別人口・世帯集計表及び学校教育情報サイト Gaccon より抜粋 [推計値] 愛知県交流居住センターのワークショップで使用した将来推計値を引用及び準拠し加工

4 実践プログラム

方針1 大きな家族のようにつながり合えるおせっかいな学区

A ちょっとしたお困りごとお助けサービス (※お出かけサポートも含む)



取組内容 ひとり暮らし高齢者等の日常生活上の小さなお困りごと（買い物等のお出かけ、草刈りや朝のごみ出し、電球・蛍光灯の取り換え、郵便物の投函など）の援助を行う。

いつ	取組内容	R5・6	R7・8	R9
	■ お困りごとの把握（ニーズ調査）とリスト化	●→		
	■ お困りごとお助けサービスの仕組づくりのための研究（ワンコインサービスなどの先進事例情報の収集など）	●→		
	■ お困りごとお助けサービスのメニューと仕組みづくり（マッチング方法や対価、支援側の人材の募集、車両確保策など）と試行実施		●→	
	■ お困りごとお助けサービスの実装			●→

B 不用品交換おすそ分け活動



取組内容 各家庭で不要になった子どもの学用品や服、おもちゃなどのリサイクルを行う（フリーマーケット、交換会）。また、作り過ぎた野菜のおすそ分け、無人販売所の設置をする。

いつ	取組内容	R5・6	R7・8	R9
	■ 先進事例収集など活動実施に向けた勉強会活動の実施	●→		
	■ 学区のイベント時に合わせた不用品交換会（フリーマーケットやバザー方式など）の実施	●→		
	■ いらぬ物とほしい物をマッチングする新たな方法によるおすそ分け活動の実施		●→	

C みんなで作る明るい遊び場づくり

取組内容 地域の3世代（祖父母・大人・子ども）や、地域外の親子の参加型で手作りの冒険遊び場づくりを行う。

いつ	取組内容	R5・6	R7・8	R9
	■ 親子自然体験の充実・拡大	●→		
	■ 構想・計画立案（場所・時期など）	●→		
	■ 構想・計画の情報共有		●→	
	■ 遊具のあるみんなの公園づくりの実践			●→

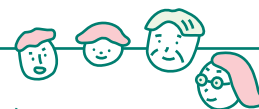
D 山里の知恵と技の伝承教室



取組内容 竹細工、祭り、昔話、農業、伝統食料理教室（味噌やこんにゃくづくりなど）、炭焼きなどを伝承するための教室を企画、開催をする。

いつ	取組内容	R5・6	R7・8	R9
	■ 市民講座としての開催（竹細工やこんにゃくづくり体験など）	●→		
	■ 各団体での発展的継続実施		●→	

E 多世代交流イベントの開催



取組内容 学区住民の老若男女が一堂に会して、親睦を深める交流イベントの企画・運営を行う。

いつ	取組内容	R5・6	R7・8	R9
	■ イベントの企画・開催	●→		

方針2 若い世代の移住者の受け入れによる持続可能な学区



A 移住アドバイザー活動の実践

取組内容 令和4年度に宮崎学区で4名を任命した移住アドバイザーを通じて、空き家・空き地の発掘や移住希望者と空き家等のマッチング、移住後の生活相談などのサポートを行う活動を実践する。また、移住アドバイザーをサポートして地域ぐるみで空き家の発掘と家主との交渉を行うために各町での移住サポーターを選出し、学区移住定住促進部会を設置する。

いつ

取組内容	R5・6	R7・8	R9
■ 地域の行事やルール等に関する情報や空き家・空き地のリストアップ	●→		
■ 空き家・空き地マップ&カルテの作成と市を通じた空き家バンクへの登録			●→
■ 移住アドバイザー・サポーター向けの空き家発掘・家主交渉術講座の開催 ※視察研修を実施			●→
■ 家主さん向けの空き家活用講座の企画実施		●→	
■ 学区の移住定住促進部会の開催		●→	

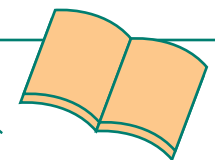
B みやざき暮らしの博覧会の開催

取組内容 移住希望者を対象に宮崎学区を知ってもらうため、空き家・空き地や保育園・小学校の見学、交流、宮崎学区の生活関連施設などを見学し、地元住民と交流するイベントを開催する。

いつ

取組内容	R5・6	R7・8	R9
■ 絆の森親子体験教室など既存のイベントと組み合わせた学区&空き家の見学会の企画と試行的実施	●→		
■ 貸したり売ったりできる空き家が複数できた際の「みやざき暮らしの博覧会」の随時開催			●→

C みやざき暮らしの便利帳(宮崎版「集落の教科書」)の作成



取組内容 こんな人に住んでほしい、地域のルールや行事、お役、生活情報、町内会費・自治会費、神仏・宗教関係費、その他魅力情報など宮崎学区の暮らしのルールや移住情報、地域の魅力などが掲載された冊子の作成を行う。また、ホームページやSNS(フェイスブックやインスタグラムなど)を活用し情報発信を行う。

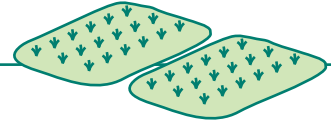
いつ

取組内容	R5・6	R7・8	R9
■ 「みやざき暮らしの便利帳」作成プロジェクトチームの設置	●→		
■ 「みやざき暮らしの便利帳」の構成・編集方針づくり		●→	
■ 「みやざき暮らしの便利帳」の編集・発行(情報収集⇒編集⇒デザイン⇒印刷⇒発行)			●→
■ SNSを活用し情報発信活動の実施			●→



方針3 都会では味わえない自分らしい働き方を見つけ、実現できる学区

A 農業実践塾&田んぼオーナー制度による農地保全



取組内容 遊休農地の有効活用や移住定住の促進、宮崎のファンづくりなどを目的として、新規就農者（移住者）や定年帰農者（地元住民）などを対象とした農業塾を開催する。田んぼオーナー制度による交流型営農も行う。

いつ	取組内容	R5・6	R7・8	R9
	■ 農地活用プロジェクトチームの設置	●→		
	■ 田んぼオーナー制や実践塾の成功事例調査等の勉強会	●→	→	
	■ 遊休農地（候補地）の実態把握と作目の検討	●→	→	
	■ 田んぼオーナー制度と農業実践塾の試行実施⇒本格実施		●→	→

B 古民家リフォーム塾

取組内容 地域の古民家をレンタルオフィスやゲストハウス、お試し住宅等として活用していくため、楽しみながら地元の大工さんと一緒に家の改修を行い、家の再生・活用を通して移住定住へとつなげる活動を行う。

いつ	取組内容	R5・6	R7・8	R9
	■ 候補となる古民家の発掘と家主との交渉	●→	→	
	■ 指導者になる地元の大工さんの発掘と協力依頼と協力メンバー集め及びプロジェクトチームの編成	●→	→	
	■ 古民家リフォーム塾の開催		●→	→

C みやざき de 起業ビジネスプランコンテスト

取組内容 宮崎学区の地域資源を活用したビジネスプランや、地域課題を解決するビジネスプラン提案するコンテストを開催し、実現性・実効性の高い提案の起業（やりたい）を地域ぐるみで支援していく。

いつ	取組内容	R5・6	R7・8	R9
	■ 応援制度づくりのためのワーキングの設置	●→	→	
	■ ビジネスプランコンテストの実施		●→	→

宮崎学区まちづくり宣言

みんなで力を合わせてまちづくりを実行し、多くの人をこの地域に引き付け、ファンを増やし、若者世代や子育て世代の移住・定住を促進し、水と緑豊かな美しい山里での暮らしが末永く持続できるよう、宮崎学区の魅力と活力を高めます。

合言葉は、**“来たれ交流人 集え関係者 増やせ定住民”**